



平成九年度・第二回

新体制初顔合わせ

常務理事・理事会

六月十六日愛板会館会議室に於いて、午後一時半より理事会に先立ち常務理事会、午後三時から第二回理事会を開いた。

過日の総代会で村上氏が新理事長に選出されたのに伴い、総代会の途中で副理事長三人、専務理事一人、常務理事九人を選出のため第一回の理事会が開かれたが、事実上、第二回の今回が村上新体制の初顔合わせとなった。常務理事会では村上理事長から組合事業の中心となる八委員会の正副委員長が指名され各委員会の活動目的の説明と積極的な委員会活動を要望された。

今回の正副委員長は常務理事を中心に適性と所属ブロックのバランスを考慮して人選された。なお技能委員会は技能検定員の資格の関係と厨房空調委員会は特殊技能のため専門職を登用した。また経営対策委員会は今期から活動目的を変更し経営研究委員会に改称して若手中心に構成され、始めて女性副委員長が誕生した。各委員会委員の選出については梶板で推薦した委員の適性と承認を各ブロック長と支部長に依頼し人選の手直しの後、各委員会所属の各委員会の席で委嘱状が手渡され今後の活躍が期待される。常務理事会では委員の選出方法から今後の事業活動、要望など積極的な討議がなされた。いづれにしても村上理事長の基本方針である

愛板 知 県
板 金 工 業 組 合
名古屋昭和区
北山町3-8-6
電話 732-1226
発行 広報委員会

透明性とバランスのとれた人選で組合事業を活性化して行くことが早急な課題となる。

午後三時から開かれた理事会は、村上理事長の挨拶で始まり各委員会の委員構成と委員会活動の説明がされた。三人の副理事長と沼沢厚生委員長から就任の挨拶と担当委員会の活動計画に協力の要請と事務局より事務連絡の後午後五時閉会。(S)

総務委員会 12人
委員長 長谷川信俊
副委員長 毛利貞夫
広報委員会 16人
委員長 斎藤充昭
副委員長 鷺見 收
技術研究委員会 10人
委員長 高柳一男
副委員長 青木久治
技能委員会 11人
委員長 内山英臣
副委員長 佐藤忠雄
厨房空調委員会 7人
委員長 石浜陽夫
副委員長 加藤哲夫
経営研究委員会 12人
委員長 滝 伸次

副委員長 本田春子
保証委員会 10人
委員長 大友堅治
副委員長 西保 章

厚生委員会 8人
委員長 沼沢啓二
副委員長 細野 清

「健康保険の適用除外
の申請期日迫る」

◎対象は法人事業所、或いは、個人事業所に於いては5人以上の常勤者が対象……

◎最終期限8月31日迄

去年より本格的に話題となつて、組合加入の健康保険の適用除外が、効かにクロアズアップされ、会計検査院の監査も厳しく、全板国保として早急な対応が求められ、最終期日まで申請の手続を完了させる様、社会保険庁よりの通達を受理したところ、今日まで対策を練りつつ、周知した処であります。今般に、未処理の事業所が多数存在しているとの事で、事務処理上苦慮している現状です。現行の健康保険法では、すべての法人事業所に於いては、役職も含めて一人でも常勤者が在籍していれば対象、尚、個人の事業所に於いては、常勤者が5人以上が対象となり、事

業主は除外されます。但し、全板国保加入の被保険者は、適用除外の申請を提出する事によって、従来通りの扱いとされ、継続して加入が認められ、安心して診療を受ける事が出来ます。しかし、社会保険は厚生年金がセットとなっており、除外する事は出来ず、国民年金から厚生年金に切換えが必要となり、従来の国民年金は据置となり、支給年令が到達した場合は、両方から支給され、両方から加入していた時よりは、合算され多く年金の支給を受ける事が出来る事となります。但し、これらの据置に對して、切り換えの意思がない事業所に於いては、従来通りの取り扱いが出来なくなり、全板国保の資格を脱退して頂く事となり、後日の混乱を招く恐れがありますので、脱退届と共に保険証を添えて

返納して頂く事となります。これらの法律の改正では、原則として市町村役場では、事情の説明により、再加入の受理を断られるケースもあり、無保険者とならない様、充分な配

慮が求められます。詳細については、梶板は勿論のこと最寄りの社会保険事務所又はお近くの社会保険労務士に相談されては如何でしょうか。沼澤

意見・提案・情報を
パソコンネットの電子メールで

梶板の組合員の中にもパソコンを使っている人は多いと思う。今ではパソコンを使っていない人でもインターネットと言う言葉を知らない人はいないと思う。インターネットとはパソコンネットワークのことを言い、そのネットワークの上にフォーラム（公共広場）を開いたりホームページを開いて情報を公開している。

組合では副理事長の高柳一男と広報委員の鷺見 收がパソコンネットワークに加入しているので、そのアドレスにアクセスすれば情報は交換することが出来る。インターネットでどこかのプロバイダー（回線接続会社）に加入している方があれば今すぐアクセスできるので何でも結構です。アクセスを。

ID 高柳一男 GCA 01735 niftyserve.or.jp
鷺見 收 QZW 02630 niftyserve.or.jp

梶板事務局夏期休暇

日頃は、組合業務にご協力を賜り有り難うございます。

梶板事務局は、8月12日(火)から8月17日(日)まで休ませていただきますので、宜敷くお願い致します。

◎連絡事項は

FAX 052-732-1733

愛知県板金工業組合

ニューリーダー 村上 章氏 プロフィール

今年四月二十日名古屋市長選挙があり、十一年続いた西尾市長から松原武久新市長に変わった。所信では「率直でオープンな市政を積極的に情報公開」などを表明している。

愛知県板金工業組合でも去る五月二十日第三十二回通常総代会で村上 章氏が愛知県板金工業組合第五代目理事長に推挙承認され就任された。

村上氏は昨年七月に全国ダクト工業団体連合会の会長にも就任されている。

村上新理事長は六月十六日の理事会で「わかりやすいオープンな組合にしたい。多くの役員を兼任しているが与えられた任務を皆さんの協力を得て一所懸命組合のために貢献したい」と語られた。

て生まれ七人兄弟で育ちその後千種区日岡町に移り名古屋市工芸学校第二本科建築科を卒業した。そのころ体調を崩ししばらく休んでいた頃、弟の栄一氏が遠縁である杉江樋工業所に勤務していたので氏にもそこに入りするようになり何人もの腕のいい職人の手元になり見よう見まねで仕事を覚えた。自分の理想は学校の先生か医者になるのが夢であったが板金業の道を歩むことになってしまった。

昭和二十八年二十五歳の春、村上ブリキ店として独立、ちょうど朝鮮戦争の特需で仕事がとても忙しく炎天下の屋根工事などでは夜になっても体がほてってなかなか寝付かなくなったのはいまでもよく覚えていいる。伊勢湾台風の際にはいまの県板金事務所あたりで雨戸張りに行き風雨の中を横付け自転車こいで帰った思い出がある。また千種小学校の高い校舎の軒樋を屋根の上から足場も無しで取り替えた思い出がいま

思えば墜落もしないでよくやったものだと思いを語られた。

昭和三十六年四月に合資会社章栄板金工業に改組代表社員となり現在に至る。

工場は名古屋市天白区中平一にあり昔は廻りが畑ばかりであったがいまでは住宅も多く建ち、フィギアスケートで有名な伊藤みどりが通っていた東海学園大学もあり朝夕はギャルたちが行き交うにぎやかな街になっている。

現在では株式会社ショウエイと合資会社章栄板金の代表取締役で営業活動や業界の発展のため全国東西を奔走している。工場のほうは弟の村上栄一、昇氏が中心となり森山勝郎氏や相馬富士男氏が四十八名の従業員と一つになつてがんばっている。家族は末子夫人と長男友章氏(四十)夫妻に二男一女の孫に囲まれ七人のにぎやかな家族である。

人柄は章栄板金に十二年勤務していまは鹿兒島県で津曲空調としてダクト工事などを営んでいる津曲氏に聞いてみた所「昔から誠実で面倒見のいい社長」と言われ九州方面来ると必ず寄ってくださると喜んでおられた。社員の評判もすごく良く誠実な社長と評判である。

以下に村上理事長の略歴を紹介する。
合資会社 章栄板金工業所 代表社員
株式会社 ショウエイ 代表取締役
愛知県職業能力開発協会 技能検定委員
愛知県職業能力開発促進実行委員
社団法人 愛知県技能士会連合会 副理事長
ダクト工業協同組合連合会 副理事長
全国ダクト工業団体連合会 会長
中日ダクト研究会 代表幹事
中部ダクト工業協同組合 理事長
受賞歴
愛知県知事表彰 二回
優秀技能者として後進の指導育成に尽力
名古屋市長表彰 二回
組合功労者
技能功労者

労働大臣表彰

卓越技能者

黄綬褒賞

関係団体の要職にあり

平野さんごころう様でした

功績を印した五期十年

愛知県板金工業組合として長年の間組合に多大な貢献をされた平野弘氏が今回の総代会を期に勇退された。そこで同氏に感謝の意を表わす「平野前理事長を囲む会」が6月4日午後6時より東山会館にて開催された。

比野定雄氏の後を継いで県板金理事長に就任された。以来五期十年に亘り、持ち前の行動力で精力的に多くの支部の総会や行事に出席され、組合や板金業界の最新情報を直接組合員に伝えていただいた。その間には県板の事業として、第一次及び第二次生活開拓ビジョン、労働環境フィージビリティ調査事業、愛知県板金共済制度、保証制度確立の推進などにたずさわられた。又、全板連においては第3部会の委員長、愛知県中小企業団体中央会においては常任理事を努められた。

当日は各支部よりの組合員はもとより、関係諸団体および商社より多数の来賓を迎え総勢111名の盛大な会となった。

平野前理事長を囲む会



会場内での前理事長ご夫妻

会は長谷川副理事長の司会で始まり、まず発起人を代表して村上理事長が挨拶に立ち平野氏の功績をたたえられた。県板職員より平野夫妻に花束が贈呈され、次いで平野氏よりお礼の言葉が述べられたが、いつものながらの雄弁さを感じさせられた。高柳副理事長より記念品が手渡された。来賓を代表して中央会の島崎専務理事が祝辞を述べられ、日本鉄板(株)の武田氏が乾杯の音頭をとられ宴に入った。

高橋

て、業界の発展に尽力以上 驚見

▼新聞屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会
会員会社紹介

県外に支店を持つ問屋さんは何店かあるがその会社を紹介する。

第九回 タカケン金属株式会社



代表取締役会長
高木 重俊

タカケン金属(株)は本社が名駅南二丁目十番にあり中部金属建材センターともいい東海三県下で高級カラー亜鉛鉄板の使用を勧め、金属製外装材の普及に努力している。

金属建材の販売加工メーカーとして市場動向・住宅事情などを把握ニーズに即応し先取りした製品開発や技術力また加工力のレベル



▶本社社屋

アップに力を入れていく。すでに多くの自社ブランド加工製品を販売し付加価値が高いと定評がある。

金属建材業界の流通は亜鉛鉄板の鋼板メーカー鉄板問屋会、金物小売店、板金業者に分類されるがタカケン金属はメーカーと問屋を併せた機能を持っている。

この様に流通販売面でニーズを知り尽くしたタカケン金属は大手メーカーの既製品にはない独自の製品と特注品の対応にもきめ細かいサービスを行っている。

タカケン金属は仕入先、素材メーカー、板金業者が一体となり品質の改善、施工技術の研修開発を目的とした、中部金属建材会を設立親睦を図ると共に地域社会の発展にも寄与している。

また板金業界でも多くが利用されている中部電力の電柱用看板は袖看板・巻看板とも中電興業から管内すべてを受注納入している。

防水工事にも参入タカウォーターブロックの呼称で、FRP(グラスファイバー強化プラスチック樹脂)を現場でランニング施工する防水工法である、この工法で住宅のベランダなどを施工している。

タカケン金属(株)は岐阜県可児市川合に北支店を持ち中央線沿線恵那中津川や高山線では下呂方面にも配達をしている。

関連会社にタカケン不動産株式会社がある。以下に会社の概要を紹介する。

南二丁目十番二十六号	西支店	名古屋市中川区富田町千音寺字粉諸二二七四	北支店	岐阜県可児市川合字梅白四八三	代表取締役会長	高木重俊	資本金	五千万円	従業員	男子三十二名 女子十九名 合計五十一名	営業費目	高級カラー亜鉛鉄板 カラステンレス板 屋根材、壁材の加工 販売、雨樋成型品 一切、板金機械工具の 販売、タカウォーター ブロックFRP防水、 電柱広告用看板、袖 看板、巻看板	営業範囲	愛知県、岐阜県、三重県	創業	昭和二十八年十二月二十五日	創業地	名古屋市中村区	創業者	高木重俊	会社設立	昭和五十一年十月	本社	名古屋市中村区名駅
------------	-----	----------------------	-----	----------------	---------	------	-----	------	-----	---------------------------	------	---	------	-------------	----	---------------	-----	---------	-----	------	------	----------	----	-----------

タカケン金属株式会社

創業

昭和二十八年十二月二十五日

創業地

名古屋市中村区

創業者

高木重俊

会社設立

昭和五十一年十月

本社

名古屋市中村区名駅

会社のモットー

消費者に利、得、満足を与え地域社会に貢献できる商品造り板金店、メーカー、施工業者と三位一体の姿勢を堅持し、お互いの共存共栄をはかる。

以上 鷲見

全国安全週間

7月1日▶7日 準備期間 6月1日▶30日

全国安全週間を
迎えるにあたって

スローガン
「安全はトップの決意と
あなたの努力
めざそう災害ゼロの
明るい職場」



準備月旬 六月一日〜六月三十日
本週 七月一日〜七月七日

◎組合員の安全確保は適切か？

毎年恒例の如く開催され、全国的な運動として展開され、これらの行事は昭和3年に実施されて以来、今年で第70回目を迎え、欠かさことなく今日まで実施され、「人間尊重」という崇高な基本理念のもと、毎年継続して実施されております。

それぞれの職場に於いて積極的な安全活動により、安全水準が着実に向上しているものの、尚多くの労働災害が発生している現状を観察するに、全体としては減少しているものの、昨年は愛知県内に於いての死亡災害は、108人の尊い命が失われ、残念な状況になっているとの事、一方で、4日以上の休業災害は九六七九人の方が被災され、日常生活に支

障をきたし、困窮しているとの報道もあり、一日も早く社会復帰を望む処です。私達は日頃職業的にも、高所作業に依存的が高く、最近には近代的名建築手法並に感覚的な表現が多く、美観的な要素を含有し、安全施策には追いつけず、無防備な状態での無理な作業、それらの災害の要因は、転落・墜落及び転倒が主で、特に脚立による

災害は
みんなでは
ゼロになる

事故の発生率が高いとの事でもあるが、尚電動工具による取扱いの注意事項を怠り、体の一部を損傷などで数多くの方が、治療又は療養に日夜専念され、ご苦労されているとの事、心からお見舞申し上げます。

県板としては昨年度

の労災事故件数は一昨年より増大し、労働基準局より厳しいご指導を受けたとの談、それらの教訓として、新たな指針の樹立に基き、健全な安全活動を施すことにより、今こそ奮起し、再発防止に一丸となって取り組む姿勢が求められ、反省を促す事は一歩前進である。

今一度原点に戻り、安全の手法を尊重し、事業主は勿論のこと、従業員の末端に至るまで徹底的に教育を施し、理解して頂ける御配慮を求めたい、尚これらを放置する事によって、社会的責任は免れまい、万が一不法行為として認められ、発覚された場合は、事業主は勿論のこと、職長に至るまで、検査庁へ書類送検となり罰金は云うまでもなく、前科が課せられ、社会的信頼を損う事となるので、要注意となろう。これらの安全週間を起点として、今一度皆んなで考え、起こしてはならない事故を未然に防ぐ事も施策として取り入れ、組合員の奮起を期待するものです。





血も愛もあげます。

知多支部では、恒例となつてゐる献血活動を催した。蟹江利夫支部長の呼びかけに、多くの参加者で賑わった。開催日は去る6月12日(木)、半田市内の(株)武豊屋さんのご好意により、施設の一部を提供して頂き、日赤の移動献血車の来訪を受け、約2時間の短時間で実施した。今回の実施にあたり、好天に恵まれ入梅期で気のあせりも気にならず、結果は良好との

事、？
最近には特に400ccの提供者も増え、日赤の係員からも歓迎され有意義な結果となり、関係者一同ホッと一息、今回は提供者には一ランクアップした粗品の進呈となり好評だった。20数年継続しての奉仕、これからも灯しびを消すことなく、時代の変化にとらわれず、永遠にと願うものである。
「ご苦労さま」
沼澤

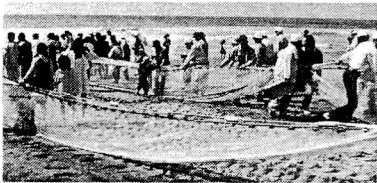
支部だより

灯しびを消すことなくつづける 献血活動



地引網大会

四月二十七日(日)初夏をおもわせるような青空の下、恒例の地引き網大会が百八十名の参加で行われました。渥美半島の根元、細谷海岸で昨年のように大漁を期待し、かけ声出してトラクターの力も借り網を引きましたが今年度の網は少し軽い？百八十名のお腹に少しだけお魚さん...？役員もそれを察してか？奥さん達が腕を奮い焼き肉、焼きそば、マグロの兜焼き等のごちそうで、お腹は満腹。家族揃つて楽しい一日をすごしました。青年部諸君、子供さんのお守りありがとうございます。役員の皆様、特に裏方をされる奥様たちに感謝します。ご苦労さまでした。
東三 吉田



オサカナさん入っているかな？

6月各支部の動き

中支部	7日 支部総会
熱田南支部	17・18日 支部親睦旅行(青年部と合同)和歌山川湯温泉 23名
昭和支部	26日 青年部親睦会 緑区モルツ館
一宮支部	9日 支部例会16名
江南支部	21日 支部青年部の今後のあり方
津島支部	24日 青年部研修会 彦根市 15名
春日井支部	16日 定例役員会 6名
小牧支部	5日 定例役員会 17名
西三板金連合会	24日 支部定例会 14名
岡崎支部	7日 役員会 4名
合同で野原川にてマス釣り大会とバーベキューを楽しむ 30名	
刈谷支部	29・30日 親睦旅行 富山県方面7名
ボート大会	7日 役員会
ボート大会	8日 支部・青年部
ボート大会	20日 青年部定例会 4名
ボート大会	5日 役員会 4名
ボート大会	18日 スタッフ会
ボート大会	21日 第3回役員会、班長会 17名
ボート大会	5日 役員会 16名
ボート大会	12日 献血 38名
ボート大会	4日 支部定例会
ボート大会	11日 青年部定例会
ボート大会	12日 東板金ゴルフコンペ 23名
ボート大会	25日 三役会 4名
ボート大会	5日 理事会 12名



梅雨時の一日 ゴルフを楽しむ

第二十五回愛板組合ゴルフコンペが六月十八日、レイクグリーンゴルフ倶楽部において村上市理事はじめ吉田専務理事、各支部から四十一名の参加を得て梅雨の晴れ間の一日を楽しんで過ごした。朝早くスタートとあって、東三支部からの参加者は五時半に家を出発したそうす。スタート前には、幹事の滝仲次さんから競技方法の説明、沢山の賞品が用意してありますので一日楽しく頑張つて下さいとの挨拶がありました。アウト・インに別れたスタート、コースは各ホール池がレイアウトされたすばらしいコースであったが、ボールを池に入れたプレイヤーも数多かった。プレー終了後にパーティーが行われ、理事長の挨拶があり、幹事さんから成績発表が行われた。成績は次の通りです。
競技方法
ダブルベリア方式
優勝 浅井 誠
準優勝 福田益雄
三位 大村浩司
B賞 平松聖之
B賞 西俣 章

編集後記

ただ今梅雨真っ直中。早々と中型の台風が二つも上陸してうとうとしいことである。時代に合わせたように台風までが忙しくなったのだろうか。
昨今の日本列島西も東も梅雨空のような憂鬱なことばかり。証券会社と巨大銀行の利益供与による商法違反容疑、小学生惨殺事件、建設問題、地元を見れば、開催目的が不透明、自然破壊につながる市民はじめ経済人文化人など批判層がかなり多数を占めると共に県の経済悪化が伝えられる中で、誘致運動に三十億円余り掛かったと言われる愛知万博と中部国際空港建設セットにして「二十一世紀にかける地域の発展」と美辞麗句を並べ立てる関係者の皆さん大丈夫ですかネ？
もう一つドーム元年優勝の願いをよそに黒星ばかり続ける中ドラゴンズ。毎日をスカッとした気分にしてほしい。
六月二十七日(金)晴
三十八号編集会議
委員十三名 出席
午後五時終了 (S)